

◆編集後記

2019年、ICT 機器が伏山台小学校に颯爽と現われました。そして2020年、GIGA スクール構想の嵐が巻き起こりました。伏山台小学校に吹き込む風は、私たち教員をより高く羽ばたかせてくれました。「風に乗ろうよ！」と最初の一声をかけてくださった先生、「一緒に乗りましょう！」と手を引っ張ってくれた先生、そして「風向きが変わったよ！」と背中を押してくださった先生。感謝しています。この2年間の研究を通して今まで見たことのない景色を見て、新しい経験をしました。各教室に無線ラン環境が整い、机上に1人1台タブレットを並べて学習する。そんな夢みたいな日々が現実になったのです。そこで ICT 機器を活用していくための新しいいきまりやキャッチコピーが生まれました。

1つ目は「お・も・て・な・し」のルールです。当初は40台のタブレットを職員室で充電していました。子どもたちがタブレットを教室に持ち運ぶ時に守ってもらえるように覚えやすい言葉を考えました。(爽やかな笑顔で身振りもマネながら言ってくれました♪) 2つ目は「伏山ステップス」。「伏山台小学校情報活用能力育成のための年間カリキュラム」は長ったらしいということで、略称を考えることになりました。職員室であれやこれやと大事なキーワードの頭文字を並べて盛り上がりました。そして完成したのは、「伏山バンプス」。B・・・ベーシック(基礎的な学習)、A・・・アドバンス(発展的な学習・ソフトやアプリの操作)、M・・・ミーティング(伝え合うための手段の育成)、P・・・プログラミング(プログラミング教育)、S・・・セキュリティー(情報モラル教育)の頭文字をとりました。「バンプス！カッコいい！」「いいね～！」と盛り上がったのも束の間、脳裏に何かがひっきり・・・検索すると欧米でおしりなどを表す若者スラングだとゆうことがわかりました。「カリキュラムの通称がおしり？！ってダメよね～。」みんなで大笑い。そしてがっくり。ふりだしに戻り「伏山 STEPS」が産声をあげました。

2021年、この研究紀要の発行をもって2年間の委嘱研究は一区切りとなりますが、「伏山 STEPS」はようやく2歳を迎えたばかりです。伏山台小学校教職員一同これからも子どもたちの情報活用能力育成にむけてチャレンジし続けます。読んでくださった教育に携わる皆様、本当にありがとうございました。そして今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

杉谷 直美

◆研究紀要◆

Society5.0 時代を生きぬく子どもたちの育成

「伏山ってええやん！」

ペアで、グループで、みんなで話し合い、問題解決する力をつける

発行 令和3年 3月24日

編集・発行 富田林市立伏山台小学校

〒584-0061 富田林市伏山2丁目1-1